

【授業科目名】	企業経営 Management of Technology		
【学年・学科】	5年 機械システムコース、環境物質化学コース		
【授業期間】	前期	【単位数】	1単位 必履修
【授業形態】	講義	【分野】	工学基礎
【担当教員】	森口 雅弘	【達成目標】	A-1
【授業概要】	企業経営の基礎的な事項と組織の一員として実社会でどのように活躍するかなどについて学ぶ科目である。		

※実務経験との関係

本科目は、中小企業診断士であり、また民間企業でのマネジメント経験のある教員により、企業経営にかかわる内容について成功や失敗の実事例を通じて学ぶ科目である。

【授業の進め方】

教科書を用いて進める。補助的にパワーポイントや配布資料を使っての説明と質疑応答を通じて理解を深める。中間テストは行わないが、初日、最終日を除く毎回講義の初めに小テストを実施(計12回)し、各回の合計を中間時点とする。

【科目の達成目標】

1. 企業経営の基礎的な事項を理解する。
2. 実社会でどのように活躍したいか将来展望や将来像を描くことができる。

【授業の内容】

項目	時間	授業内容
企業活動と経営戦略の全体概要	2	企業経営についての全体概要
事業戦略(競争戦略)	2	企業経営における事業戦略の概要と重要性
企業戦略(成長戦略)	2	企業経営における企業戦略の概要と重要性
技術経営	2	技術経営の目的
企業の社会的責任(CSR)	2	企業の社会的責任とコーポレートガバナンス
組織構造論	2	組織の概念と構造
組織行動論	2	モチベーション、リーダーシップ等
人的資源管理(1)	2	雇用管理、人事制度等、能力開発
人的資源管理(2)	2	労働関連法規等
第1編 戦略論、第2編 組織論のまとめ	2	第1編 戦略論、第2編 組織論のまとめ
マーケティングの基礎概念	2	マーケティングについての全体概要
製品戦略	2	製品戦略の概要、ブランディング、パッケージング等
価格戦略、チャネル戦略	2	価格設定、価格管理等とチャネル・物流戦略の概要
プロモーション戦略	2	プロモーションミックス等
定期試験		
答案返却および解説、その他	2	試験問題および解答の解説、その他

【授業時間外の学習】

事前学習：授業内容に関して予習しておくこと

事後学習：教科書やノート等を用いて復習しておくこと

【履修上の注意点】

授業内容とその開講日は掲示板に掲示する。各種問い合わせや届けの押印は担当講師が対応する。授業で用いた資料やパワーポイントは共有ドライブで提供する。著作権の問題で一部は共有ドライブにアップされない。

【成績評価の方法】

1. 12回の小テスト合計(25%)、定期試験(75%)で評価する。
2. 100点法で60点以上を合格とする。

【関連科目】

法と経済、技術倫理、知的所有権

【教科書等】『中小企業診断士 最速合格のための スピードテキスト(1)企業経営理論 2022年度版』

【参考書】

【授業科目名】	企業経営 Management of Technology		
【学年・学科】	5年 メカトロニクスコース、電子情報コース		
【授業期間】	前期	【単位数】	1単位 必履修
【授業形態】	講義	【分野】	工学基礎
【担当教員】	中井 勝博	【達成目標】	A-1
【授業概要】	企業経営の基礎的な事項と組織の一員として実社会でどのように活躍するかなどについて学ぶ科目である。		

※実務経験との関係

本科目は、中小企業診断士であり、また民間企業でのマネジメント経験のある教員により、企業経営にかかわる内容について成功や失敗の実事例を通じて学ぶ科目である。

【授業の進め方】

教科書を用いて進める。補助的にパワーポイントや配布資料を使っての説明と質疑応答を通じて理解を深める。中間テストは行わないが、初日、最終日を除く毎回講義の初めに小テストを実施(計12回)し、各回の合計を中間持点とする。

【科目の達成目標】

1. 企業経営の基礎的な事項を理解する。
2. 実社会でどのように活躍したいか将来展望や将来像を描くことができる。

【授業の内容】

項目	時間	授業内容
企業活動と経営戦略の全体概要	2	企業経営についての全体概要
事業戦略(競争戦略)	2	企業経営における事業戦略の概要と重要性
企業戦略(成長戦略)	2	企業経営における企業戦略の概要と重要性
技術経営	2	技術経営の目的
企業の社会的責任(CSR)	2	企業の社会的責任とコーポレートガバナンス
組織構造論	2	組織の概念と構造
組織行動論	2	モチベーション、リーダーシップ等
人的資源管理(1)	2	雇用管理、人事制度等、能力開発
人的資源管理(2)	2	労働関連法規等
第1編 戦略論、第2編 組織論のまとめ	2	第1編 戦略論、第2編 組織論のまとめ
マーケティングの基礎概念	2	マーケティングについての全体概要
製品戦略	2	製品戦略の概要、ブランディング、パッケージング等
価格戦略、チャネル戦略	2	価格設定、価格管理等とチャネル・物流戦略の概要
プロモーション戦略	2	プロモーションミックス等
定期試験		
答案返却および解説、その他	2	試験問題および解答の解説、その他

【授業時間外の学習】

事前学習：授業内容に関して予習しておくこと

事後学習：教科書やノート等を用いて復習しておくこと

【履修上の注意点】

授業内容とその開講日は掲示板に掲示する。各種問い合わせや届けの押印は担当講師が対応する。授業で用いた資料やパワーポイントは共有ドライブで提供する。著作権の問題で一部は共有ドライブにアップされない。

【成績評価の方法】

1. 12回の小テスト合計(25%)、定期試験(75%)で評価する。
2. 100点法で60点以上を合格とする。

【関連科目】法と経済、技術倫理、知的所有権

【教科書等】『中小企業診断士 最速合格のための スピードテキスト(1)企業経営理論 2022年度版』

【参考書】

【授業科目名】 企業経営 Management of Technology

【学年・学科】 5年 都市環境コース

【授業期間】 前期

【単位数】 1単位 必履修

【達成目標】 A-1

【授業形態】 講義

【分野】 工学基礎

【担当教員】 打田 剛生

【授業概要】

インフラマネジメントとは何か、どうしてマネジメントが必要なのか、今後にも必要になるのはなぜか、事業あるいはプロジェクトの各段階においてどのように実施していけばよいのか、を現行制度やそこに至る過程を顧みるとともに工学的・数理的な手法と社会科学的手法の両面から説明を行い、広く社会全体の視野から見通すことを学ぶ

【授業の進め方】

プリント配布を基本とする。またパワーポイントや動画を使って解説を行う。質疑応答を通じて理解を深める。適宜、自己学習のためのレポートを課す。

【科目の達成目標】

1. マネジメントの目的と求められる役割、スキル、姿勢について理解する
2. プロジェクトの合意形成を円滑に図るための手法や諸問題について理解する
3. 都市・交通・インフラの歴史と現状について理解する
4. 建設マネジメントの概要と実務について、具体的事例をもとに理解する
5. これからの建設マネジメントのあり方についてイメージできる

【授業の内容】

項目	時間	授業内容
インフラのマネジメント論	2	インフラマネジメントとは何か、マネジメントの目的と求められる役割 プロジェクトマネジメント、リスクマネジメントの概要と意義
合意形成・ジレンマと意思決定	2	合意形成を円滑に図るための手法、パブリック・インボルブメント 協力非協力・公共的利益、私的利益に関する社会的ジレンマと処方箋
数理的計画論	2	費用便益分析論、線形計画法、非線形計画法
都市・交通・インフラの歴史	4	定義、構成要素、特色、分類、関西・日本・世界における現状
技術者倫理と建設マネジメント	2	技術者倫理、コンプライアンス、建設マネジメントの概要
計画と設計の実務	2	調査・計画と設計の枠組みと実例（大阪都市再生環状道路）
【中間試験】	2	
入札と契約の実務	2	入札・契約制度の概要、品確法と総合評価落札方式
施工の実務	2	工程管理、施工管理、品質管理、安全管理、環境対策の概要
施工に必要な知識	4	ネットワーク工程表、工事のための各種届出、廃棄物処理、積算
アセットマネジメントの実務	2	アセットマネジメントの概要と実例（大阪府都市基盤施設長寿命化計画）
建設マネジメントのこれから	2	BIM/CIM、i-CONSTRUCTION、ICT、IoT
【期末試験返却・総括】	2	

【授業時間外の学習】

事前学習：社会やニュースに目を向けよう。事例や失敗例から学ぼう。

事後学習：資料等を用いて復習しておくこと。レポート作成時には自己学習・自己研鑽に励みましょう

【履修上の注意点】

エンジニアに求められるものは、専門性の他、総合性、コミュニケーション能力です。

社会への窓と、情報をキャッチするアンテナを常に持つておきましょう。

【成績評価の方法】

1. 試験70%、レポート等の提出状況とその内容30%で評価する
2. 100点法により評価し、60点以上を合格とする

【関連科目】 法と経済、技術倫理、知的所有権、建設施工、防災工学

【教科書等】 プリント配布。また適宜、自己学習のためのレポートを課す。

【参考書】 講義の中で随時紹介する